


## ●BFO調整

NARROW-WIDEスイッチ→NARROW、BFOスイッチ→ON

調整 回路	バンド	シグナルジェネレータ		受信機の ダイヤル位置	調整箇所及び変調
		接続箇所	周波数		
BFO	SW <sub>1</sub>	12PFを通してセットの ①P <sub>1</sub> ……………②側 ①……………②側 ①……………②側	3.5MHz 600Hz×変調 (弱入力)	信号に異調	①BFOスイッチをONにしてシグナルジェネレータの電圧をOFFにする。 ②P <sub>1</sub> (BFO発振コイル)の調整コアを回して、等ビートに調整する。

## ●FM調整

### ●レシオ検波回路調整(OUTPUT MODEは、IF SWEEPの位置)

順 序	調整回路	方形FM信号発生器の接続		調整箇所	調整変調	フランク マシンの 波形
		RF & IF SWEEP OUTPUT端子 (FMダイアムアンテナを使用)	R & C 端子 (IFプローブを使用)			
1	レシオ 検波	セットの ①P <sub>1</sub> ……………②側 ①……………②側 ①……………②側	セットの ①P <sub>1</sub> ……………②側 ①……………②側 ①……………②側	7.5(MW 80V)	7.5のコアを調整して5コープを 元の波形の高さが最大で上下対称 になるよう調整し調整する。 (5周)	 0.150V

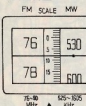
〔注〕どうしても波形が対称にならない場合は、コアを若干ずつ加減して組合で対称な波形になるように修正します。

余り大きく修正する必要がある場合、又はどうしても対称にならない時は、回路の異常であると考えられますから、その方を点検する必要があります。

### ●高周波回路調整(OUTPUT MODEはL、R又はL+Rの位置)

順 序	調整 回路	方形FM信号発生器		受信機の ダイヤル位置	調整変調 (出力が最大になるように調整する)
		RF & IF SWEEP OUTPUT端子 (FM RFダイアムアンテナを使用)	周波数		
2	高周波	セットの ①P <sub>1</sub> ……………②側 ①……………②側 ①……………②側	78.5MHz	第45周	L <sub>1</sub> (FM発振コイル)の調整コアー及び L <sub>2</sub> (FMアンテナコイル)の調整コアー
3			89.2MHz	第46周	C <sub>100</sub> (FM発振トリマー)の調整ビス及び C <sub>101</sub> (FMアンテナトリマー)の調整ビス
4	②、③を繰り返して調整して両方とも完全にします。				

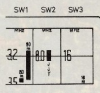
## ●調整目盛



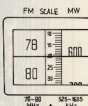
(第39図) MW 550kHz



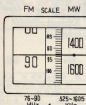
(第41図) SW<sub>1</sub> 3.5MHz



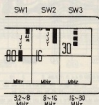
(第43図) SW<sub>1</sub> 8MHz  
SW<sub>2</sub> 16MHz



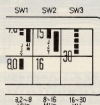
(第45図) FM 78.5MHz



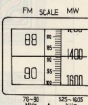
(第40図) MW 1500kHz



(第42図) SW<sub>1</sub> 8MHz  
SW<sub>2</sub> 16MHz



(第44図) SW<sub>1</sub> 30MHz



(第46図) FM 89.2MHz